

まるコピー

marucopy

容量の大きいHDDから小さいHDDへの引越し方法

◆ 説明 ◆

ここでは、記憶容量の大きい HDD から小さい HDD への引越し手順を紹介します。

「まるコピー」は記憶容量が同じか、より大きな HDD への引越しを支援する目的で製作しておりますが、ここで紹介するフリーソフト「GParted」を使用すれば、記憶容量の小さい HDD への引越しも可能です。

なお、このソフトウェアは「まるコピー」のベース OS「KNOPPIX」に含まれております。

目次

1. 安全に引越すために準備する HDD	4
1-1. 引越し元の HDD	4
1-2. 作業用の HDD	4
1-3. 引越し先の HDD	4
2. 引越し元の HDD の最適化◆	5
3. 引越し元の HDD→作業用の HDD に引越し	10
3-1. 作業用の HDD への引越し	10
3-2. 作業用の HDD からの起動確認	10
4. 作業用の HDD のパーティションを小さくする	11
4-1. GPARTED の起動	11
4-2. 作業用の HDD のパーティションを小さくする	14
4-3. パーティションが小さくなった作業用の HDD からの起動確認	20
5. 作業用の HDD→引越し先の HDD に引越し	21
5-1. 引越し先の HDD に引越し	21
5-2. 引越し先の HDD からの起動確認	21
6. 引越し先の HDD のパーティションを拡張	22
6-1. パーティションを拡張	22
6-2. 引越し先の HDD からの起動確認	23

1.安全に引越しするために準備する HDD

1-1. 引越し元の HDD

 	<ul style="list-style-type: none">黄色 = 使用済み白色 = 空き灰色 = 未使用緑色 = 区切り
引越し元の HDD	現在使っているオリジナルの HDD です。

1-2. 作業用の HDD

 	<ul style="list-style-type: none">黄色 = 使用済み白色 = 空き灰色 = 未使用緑色 = 区切り
作業用の HDD	ディスクサイズを変更する作業に使う HDD です。 「引越し元の HDD」より同じか、より大きい容量の HDD を使います。最終的に、この HDD から小さい HDD に引越します。

1-3. 引越し先の HDD

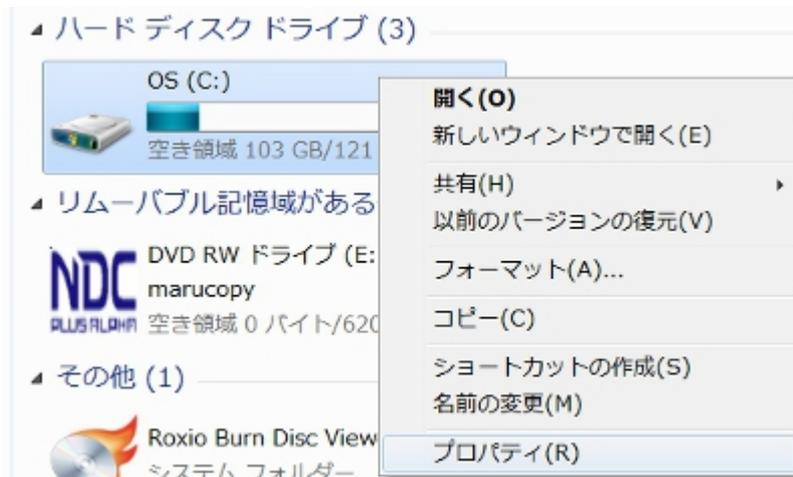
 	<ul style="list-style-type: none">黄色 = 使用済み白色 = 空き灰色 = 未使用緑色 = 区切り
引越し先の HDD	最終的に引越して利用する、引越し元の HDD より小さい容量の HDD です。 「引越し元の HDD」の黄色で示された使用サイズよりは、容量が大きい必要があります。

2. 引越し元の HDD の最適化

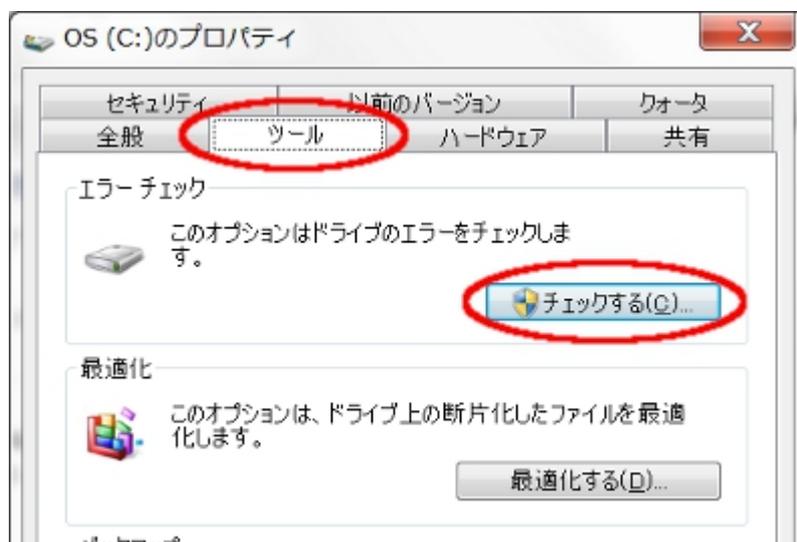
OS (Windows)を起動して以下の手順で、引越し元のディスクの最適化を事前に行ってください。



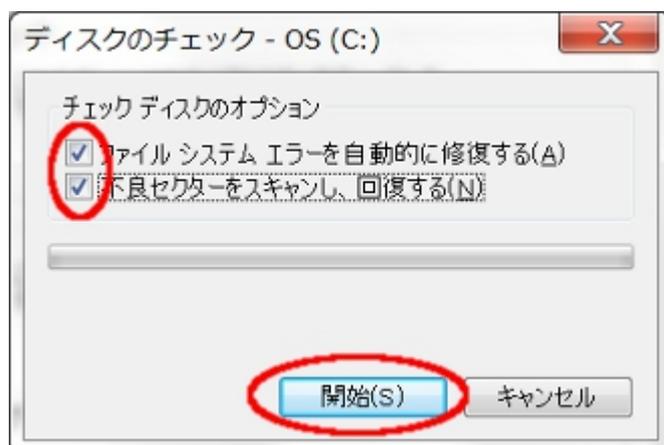
1. Windows を起動して不要なファイルを削除してください。併せて、ゴミ箱の中身も必要なければ空にしてください。
2. Windows でエラーチェックを行いますので、以下のとおり「マイコンピュータ」から内部ディスクを右クリックして「プロパティ」を選んでください。



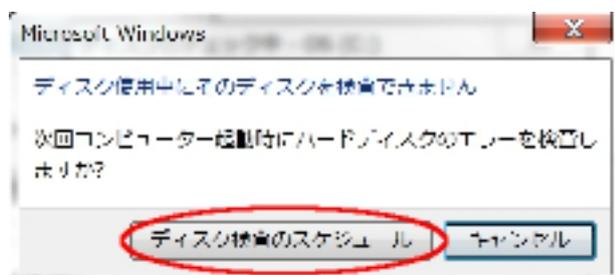
3. 「ローカルディスクのプロパティ」画面が表示されますので、以下のとおり「ツール」タブの「チェックする」ボタンをクリックしてください。



4. 「ディスクのチェックローカルディスク」画面が表示されますので、以下のとおり「チェックディスクのオプション」すべてにチェックを入れて、「開始」ボタンをクリックしてください。

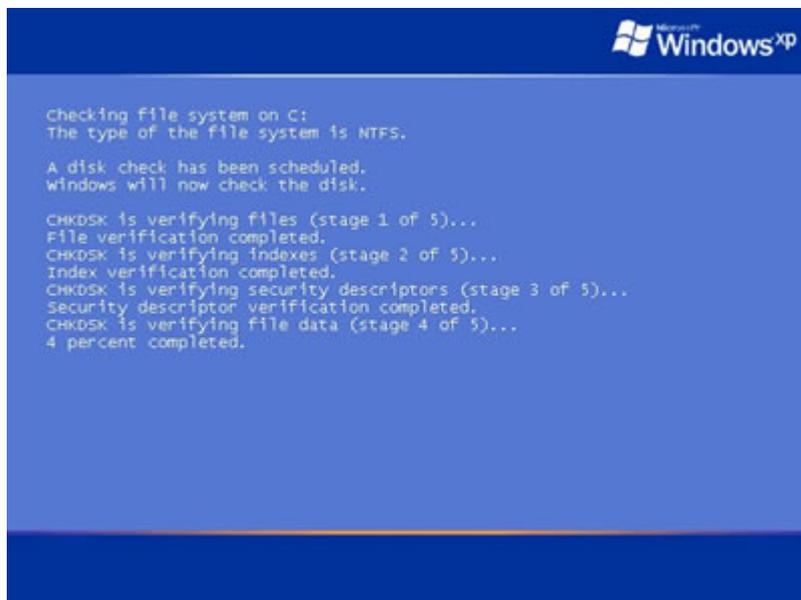


5. 以下の画面が表示されますので、「はい」ボタンをクリックしてください。



6. この後 Windows を再起動すると以下の画面が表示され、ディスクのチェックが実行されます。

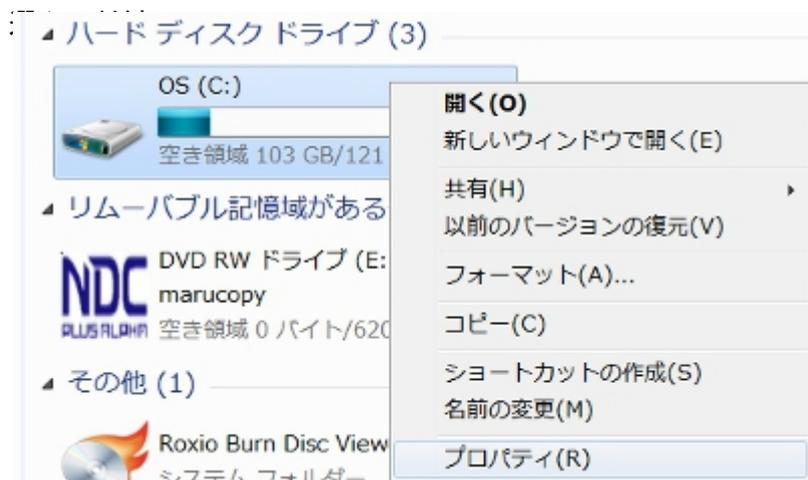
※この処理はしばらく時間がかかります。



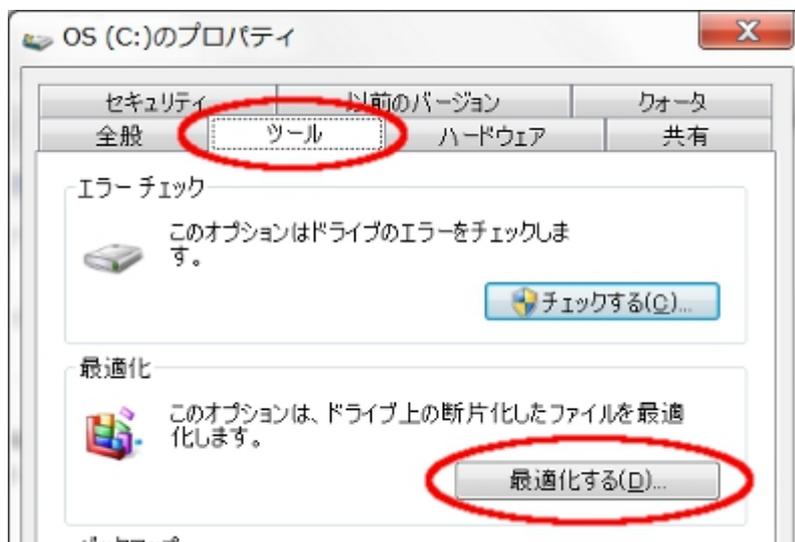
※画面は WindowsXP のものです。

7. ディスクのチェックが終われば再び Windows を起動して、次に HDD の最適化を行います。

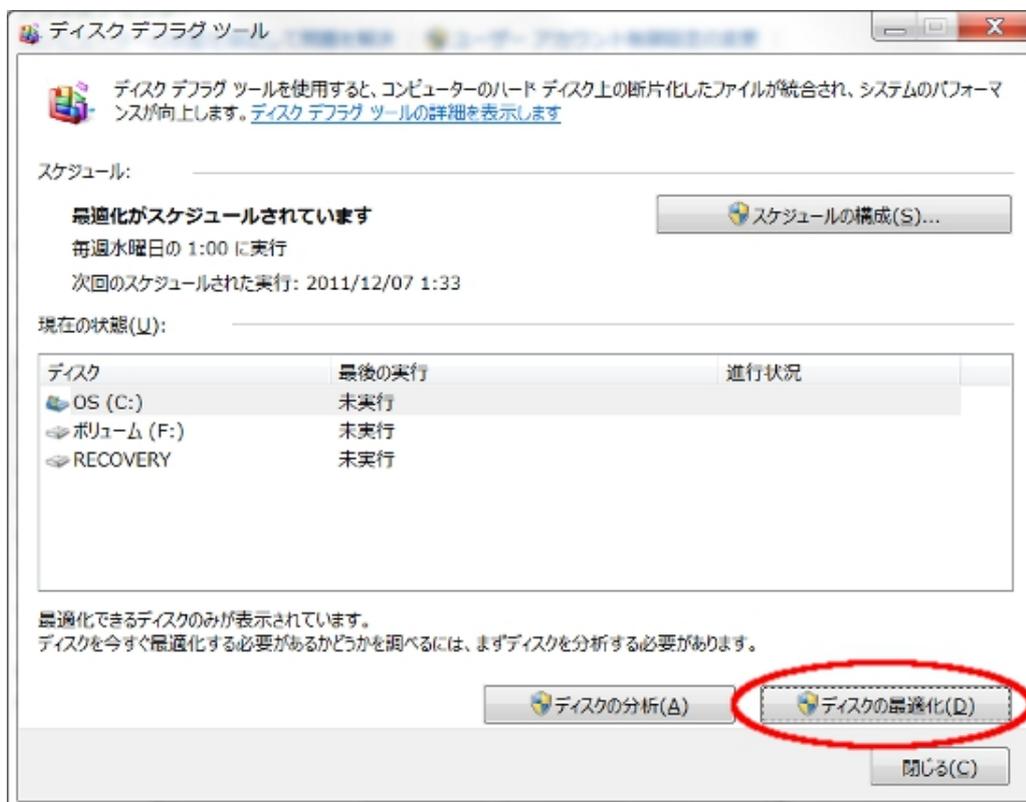
再度、以下のように「マイコンピュータ」から内部ディスクを右クリックして、プロパティを



8. 「ローカルディスクのプロパティ」画面が表示されますので、以下のとおり「ツール」タブの「最適化する」ボタンをクリックしてください。



9. 「ディスクデフラグツール」画面が表示されますので、以下のとおり「最適化」ボタンをクリックしてください。



※この処理はしばらく時間がかかります。

「最適化が完了しました」というメッセージが表示されたら、Windows での引越し先の HDD の最適化は完了です。

3. 引越し元の HDD->作業用の HDD に引越し

3-1. 作業用の HDD への引越し

「まるコピー」を使って、「引越し元の HDD」から「作業用の HDD」へ引越しを行います。

引越し元の HDD	
 	<ul style="list-style-type: none">■ = 使用■ = 空き■ = 未使用■ = 区切り
↓↓↓↓「まるコピー」で引越し↓↓↓↓	
作業用の HDD	
 	<ul style="list-style-type: none">■ = 使用■ = 空き■ = 未使用■ = 区切り

別記 [ネットワーク上の Windows 共有パソコンを使ったディスクの引越し方法](#)
や、[USB ハードディスクを使った ディスクの引越し方法](#)
の手順に従って、引越しを完了してください。

3-2. 作業用の HDD からの起動確認

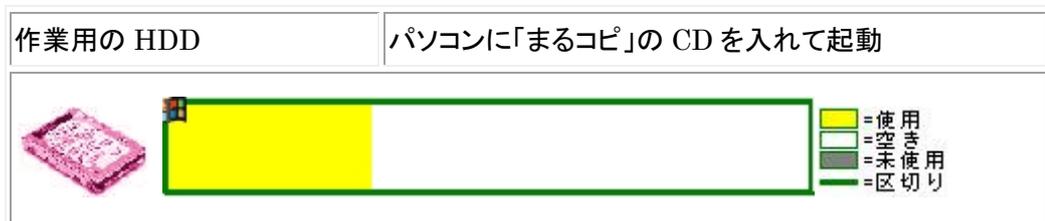
正常に引越しできたかどうか、作業用の HDD から OS を起動して、OS・アプリ・データが引越しできていることを確認してください。

作業用の HDD	OS を起動して引越しができているか確認
 	<ul style="list-style-type: none">■ = 使用■ = 空き■ = 未使用■ = 区切り

4.作業用の HDD のパーティションを小さくする

4-1. GParted の起動

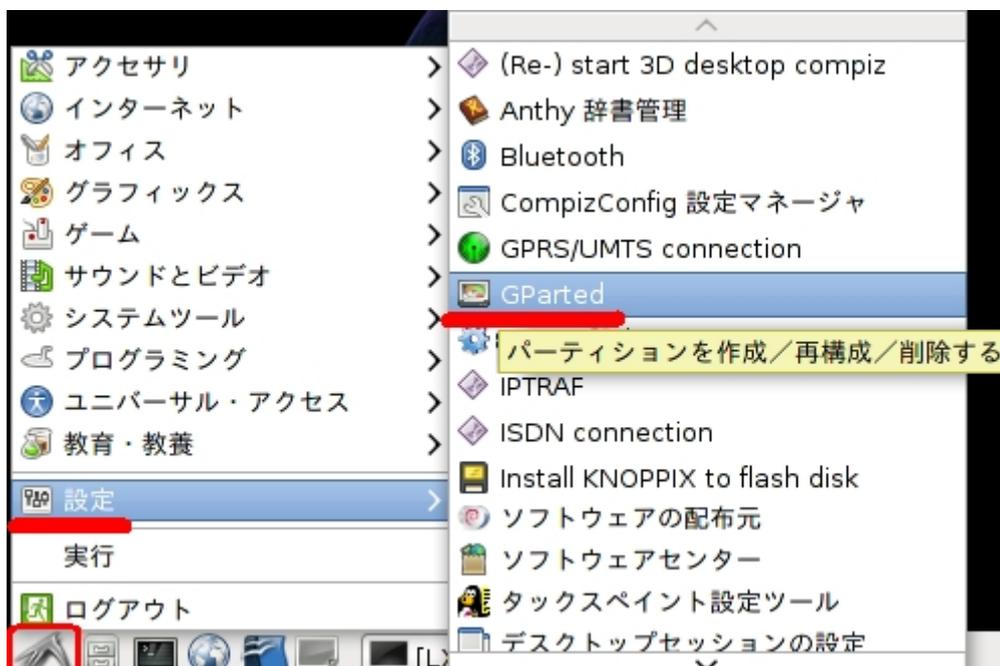
1. 作業用の HDD が接続されているパソコンの CD ドライブに「まるコピー」の CD を入れて、電源を入れて起動してください。



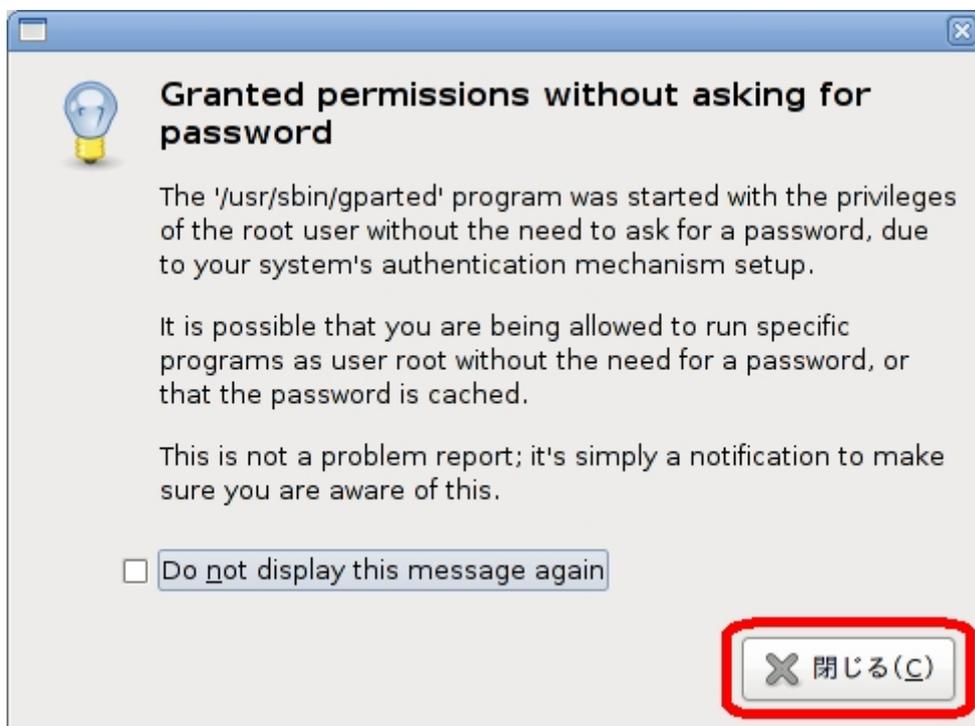
2. 最初に以下の起動画面が表示されますので、**knoppix 5** と入力して[ENTER]キーを押し、KNOPPIX を起動してください。



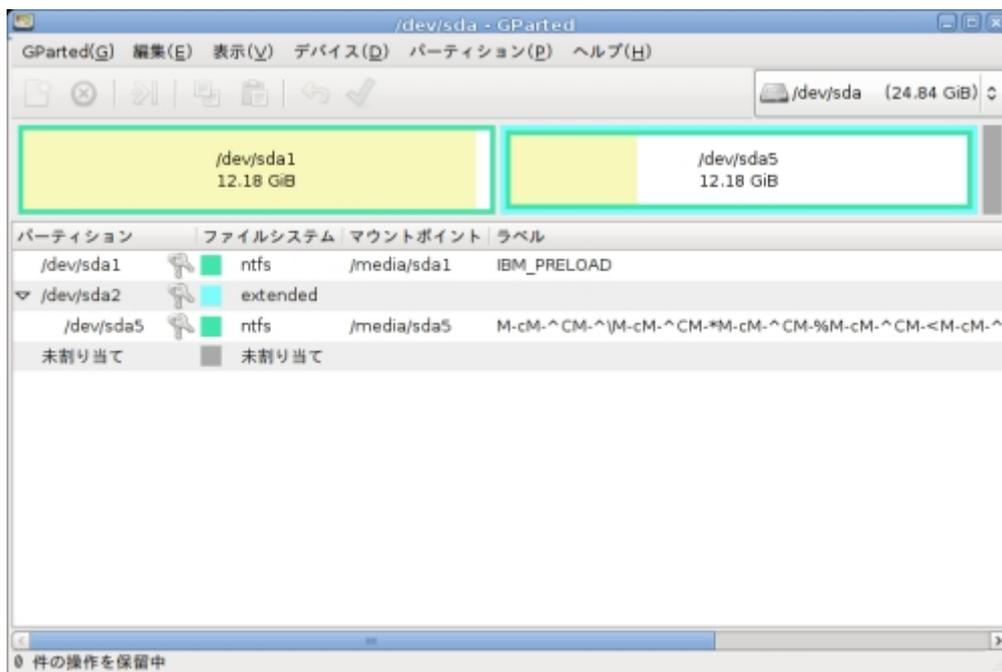
3. KNOPPIX が起動すれば、以下のとおりメニューから「設定」→「GPaeted」を選択してください。



以下のようなダイアログが表示されたら、[閉じる]ボタンをクリックしてください。



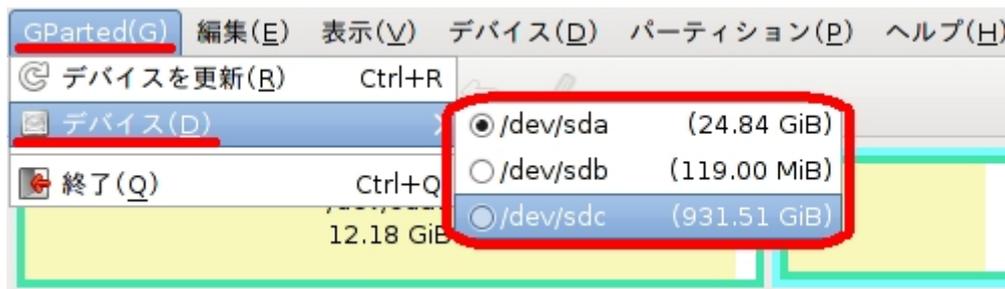
4. 以下のように GParted が起動します。



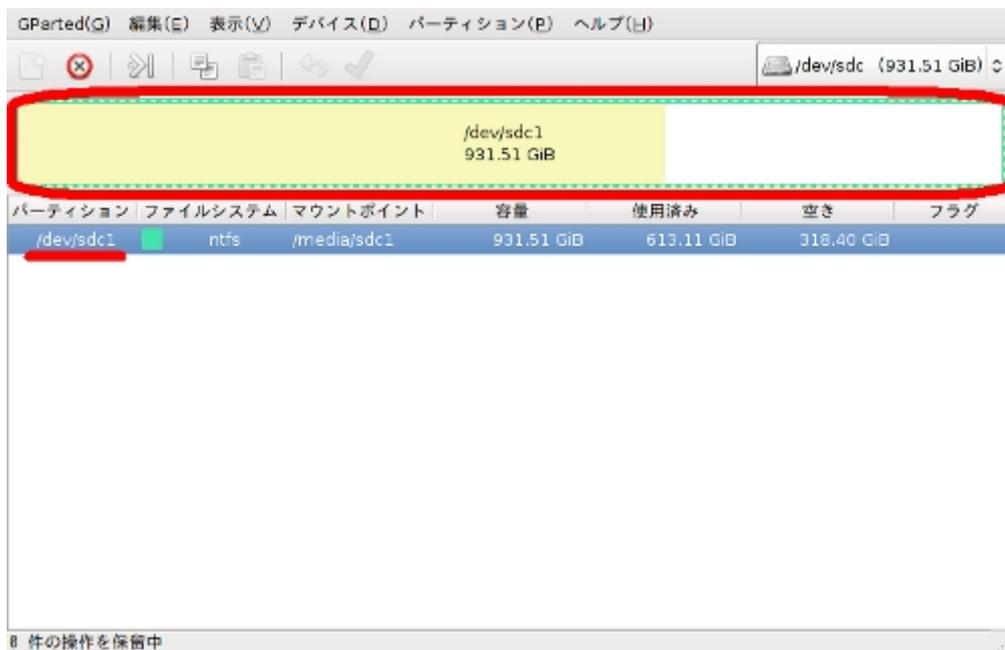
4-2. 作業用の HDD のパーティションを小さくする

作業用 HDD のパーティションサイズを小さくし、小さい容量の引越し先の HDD に引越せるようにします。

1. まず以下のように、メニューバー「GParted」→「デバイス」を選択し、表示された中から作業用のハードディスクを選択します。



2. 表示されたハードディスクのパーティションを選択します。

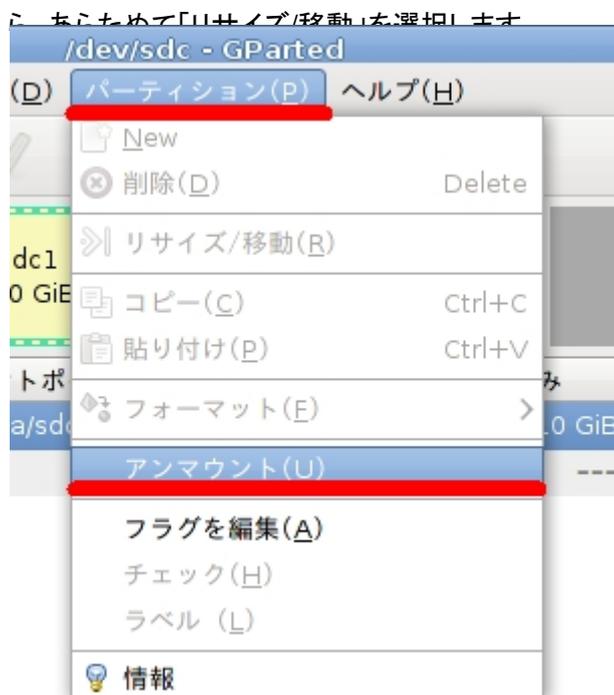


3. 引越し先の HDD より小さくなるようパーティションサイズを変更します。

以下の操作メニューから「パーティション」→「リサイズ/移動」を選択します。



「リサイズ/移動」が選択できない場合は、「アンマウント」を選択してマウントを解除してか



4. 以下のとおり、サイズを変更する画面が表示されます。



左が HDD の先頭です。こちらに向かって赤で囲った部分をマウスで右いっぱいドラッグ & ドロップして、パーティションサイズを引越し先の HDD より小さくなるよう変更してください。

この時、左へそれ以上ドラッグできないところが、変更できる限界です。ここを境界に設定すると、OS の起動する際の仮想メモリが取れない場合がありますので、この限界より少し右側に余裕を持たせて境界を決めてください。



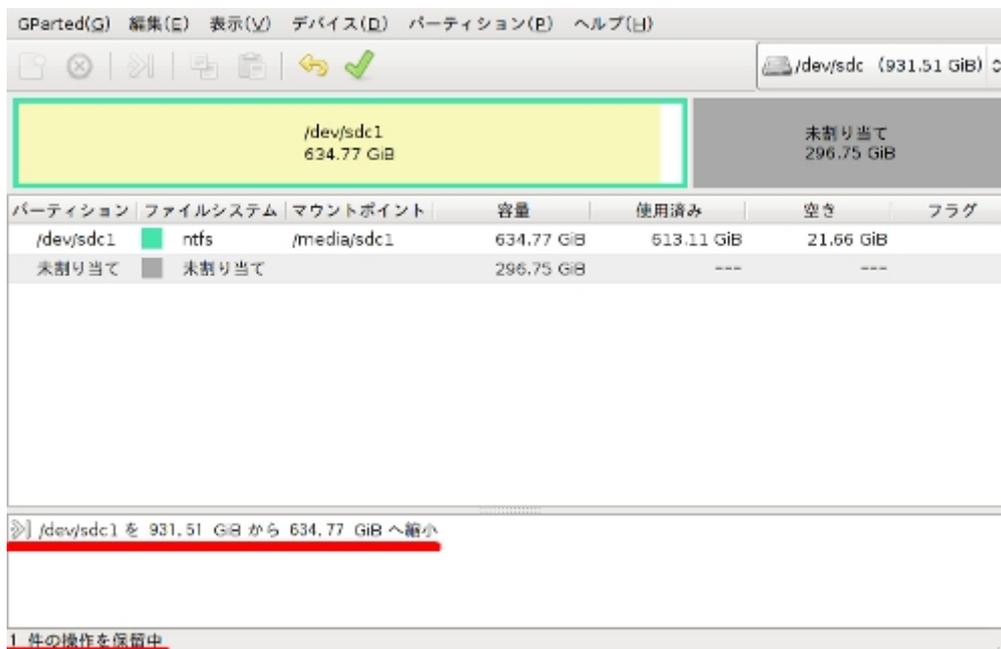
新しいサイズを指定できたら、「リサイズ/移動」ボタンをクリックしてください。

しばらく計算に時間がかかります。

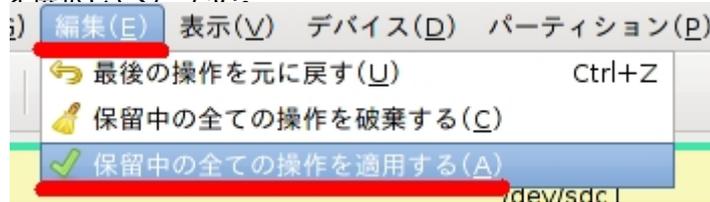
※計算は一瞬で終わる場合もあれば、30 分以上時間がかかる場合があります。この時ディスクアクセスランプは点滅しませんが、計算は進んでいますので、気長にお待ちください。

5. 計算が終われば、以下の通り確認画面が表示されます。

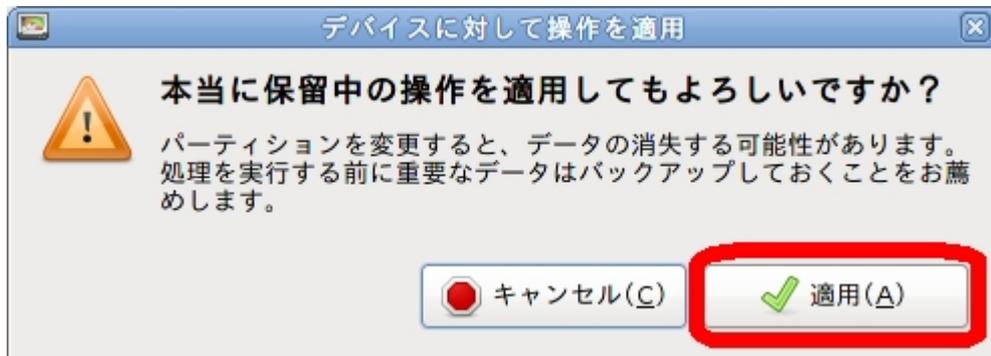
この段階では拡大する操作は保留されていて、書き込みは行われていません。



6. 問題なければ、以下のとおり、メニューバー「編集」→「保留中の全ての操作を適用する」を選択してください。

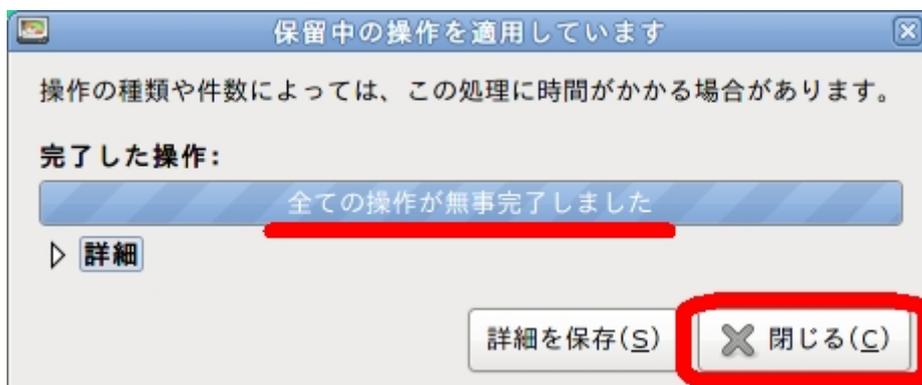


以下の確認メッセージを読んで、問題なければ「適用」ボタンをクリックしてください。

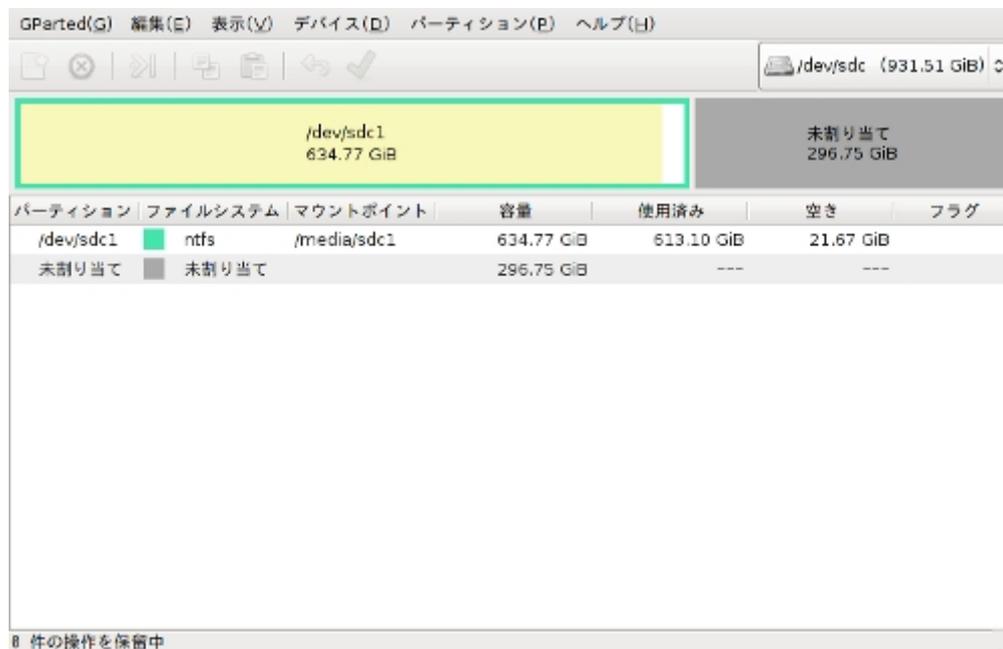


※メッセージの通り、全てのデータが消える可能性があります。引越し元の HDD ではありませんので、万が一消えてしまった場合でも、もう一度「3. [引越し元の HDD->作業用の HDD に引越し](#)」の手順からやり直せます。

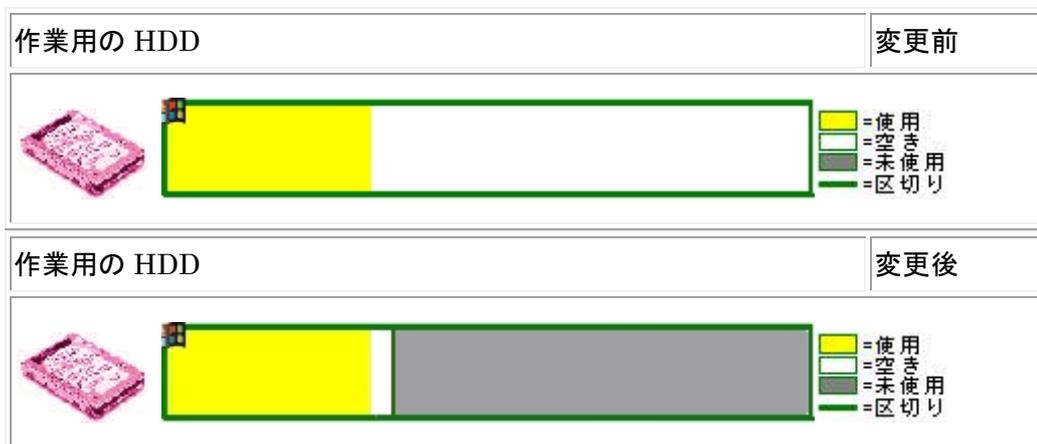
7. 以下のように進捗状況が表示されますので、「全ての操作が無事完了しました」というメッセージが表示されたら、「閉じる」ボタンをクリックしてください。



8. 以下の通りパーティションサイズが変更され、未使用領域がなくなったことを確認すれば、GParted と KNOPPIX を終了してください。



これで作業用の HDD のパーティションが以下のように変更されたこととなります。



4-3. パーティションが小さくなった作業用の HDD からの起動確認

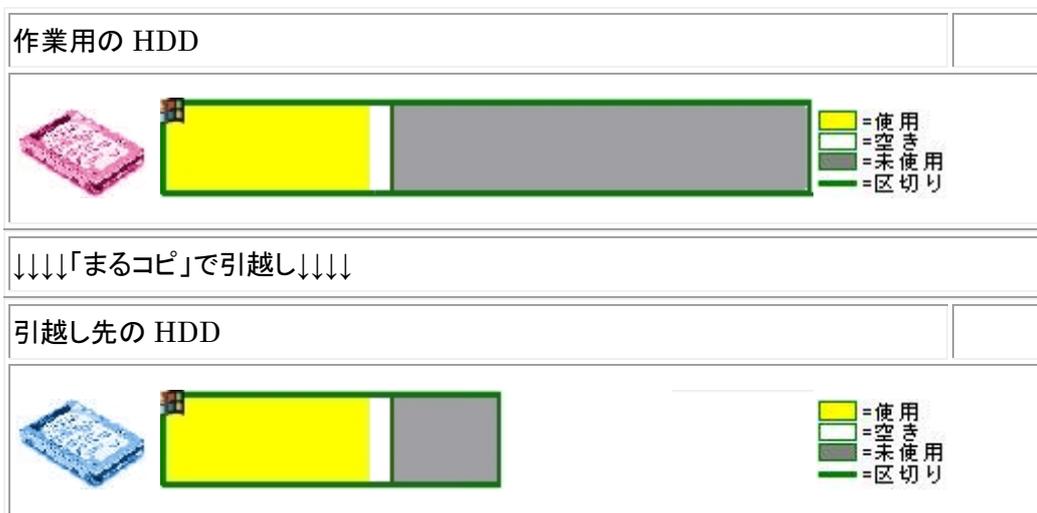
正常にパーティションの変更ができたかどうか、作業用の HDD から OS を起動して、OS・アプリ・データが問題ないことを確認してください。



5.作業用の HDD->引越し先の HDD に引越し

5-1. 引越し先の HDD に引越し

「まるコピー」を使って、「作業用の HDD」から「引越し先の HDD」へ引越しを行います。



別記 [ネットワーク上の Windows 共有パソコンを使ったディスクの引越し方法](#)
や、[USB ハードディスクを使った ディスクの引越し方法](#)
の手順に従って、引越しを完了してください。

5-2. 引越し先の HDD からの起動確認

正常に引越しできたかどうか、引越し先の HDD から OS を起動して、OS・アプリ・データが引越しできていることを確認してください。



6. 引越し先の HDD のパーティションを拡張

6-1. パーティションを拡張

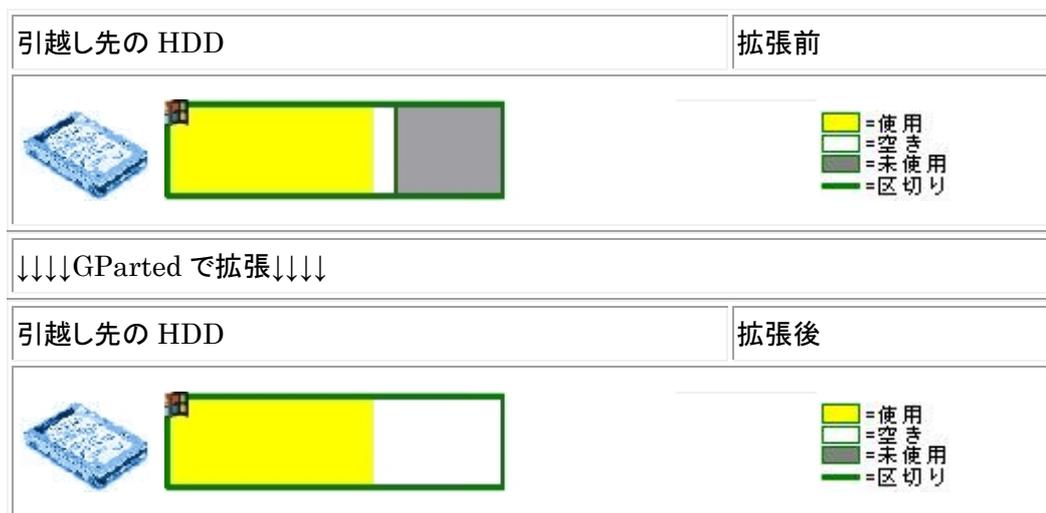
- 拡張の前に、Windows で「完全なチェックディスク」と「デフラグ(最適化)」を

2. [引越し元の HDD の最適化](#)

を参考に行ってください。

※この作業を行わないと正常に拡張できない場合があります。

- 次に、引越し先の HDD の後ろの領域が未使用ですので、以下の通り「GParted」を使って、拡張してください。



- GParted の使い方は「4. [作業用の HDD のパーティションを小さくする](#)」で示している内容を読み替えば、大きくする手順も容易に分かっていると思いますので、ここでは省略します。

6-2. 引越し先の HDD からの起動確認

正常にパーティションの拡張ができたかどうか、引越し先の HDD から OS を起動して、OS・アプリ・データが問題ないことを確認してください。



以上で記憶容量の小さい HDD への引越しは完了です。